

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	8・2・1	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	阿武隈急行線の利用促進及び支援			○		
③ 目標	公共交通の利便性に満足している町民の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 鉄道は、福島～槻木を結ぶ阿武隈急行線が南北に通り、最寄り駅としてあぶくま駅、丸森駅、北丸森駅の3駅があります。通勤・通学の利用だけでなく、本町への観光客の交通手段としての役割を担っていますが、乗降客数は減少傾向にあります。町では、通勤・通学者を対象とした通勤定期券・運賃の助成や、観光客向けのお買物券サービスなど、阿武隈急行線の利用促進に向けた様々な事業を展開しています。</p> <p>◆ 町民の身近な交通機関である町民バス、予約型乗合タクシー「あし丸くん」を運行しています。特に、「あし丸くん」は、自宅から町中心部のまちなか拠点施設まで運行しており、町民が利用しやすい交通手段となっています。</p> <p>◆ 急速な高齢化によって、誰もが安心して利用できる移動手段として、その役割がますます期待されることから、町民・行政・交通事業者が連携をとりながら、ニーズに合った公共交通環境の整備が求められています。</p>		施策の内容	<p>本町にとって欠かせない公共交通機関である阿武隈急行線については、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、安全な運行に必要な車両等の修繕や設備導入などを支援します。また、阿武隈急行線に関する各種イベントの開催や情報誌の発行などにより利用促進を図ります。</p>		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
阿武隈急行線利用者数	人	246,000		246,000	246,000	246,000	246,000		
				180,000					
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
阿武隈急行線利用者数	人	246,000		246,000	246,000	246,000	246,000		
				180,000					

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	14,189	8,485	9,087	8,740	8,740

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<p>阿武隈急行線について、丸森町阿武隈急行利用促進協議会や町民の方々と協力して、利用しやすい環境を整えるよう維持管理や利用促進事業を行った。また、安全な運行に必要な車両等の修繕のため、阿武隈急行線株式会社が実施する緊急保全設備事業の一部費用を補助することにより、支援をした。</p> <p>丸森町阿武隈急行線利用促進協議会で、丸森駅設置の貸出し自転車へ電動アシスト付き自転車を導入し、利用者の利便性を図った。</p> <p>沿線自治体で組織している阿武隈急行線沿線開発推進協議会の利用促進と利用者数の増加を図り、沿線自治体の活性化につなげている。</p>	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<p>引き続き、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、阿武隈急行株式会社が実施する車両等の修繕事業へ補助金交付により支援する。</p> <p>また、阿武隈急行線に関する各種イベントへの支援、運賃補助などの各種メニューのPRにより、利用促進を図る。</p> <p>開業30周年へ向けて記念イベントや活性化策を検討する。</p>
---------	---

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 これまでの活性化事業に加え、利用客の増加となるよう30周年事業を実施する。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 引き続き、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、阿武隈急行株式会社が実施する車両等の修繕事業へ補助金交付により支援していくこと。 また、開業30周年へ向けて阿武隈急行線に関する各種イベントへの支援、運賃補助などの各種メニューのPRにより、利用促進を図っていくこと。